

年 組 名前：

問1

東京都のアウトドア用品メーカーは、  
道志村でどのようなことと  
取り組んでいますか。

.....  
.....

問2

同社は、どこに自生していたワサビを  
どこに移動させましたか。

・自生していた場所

.....  
・移動した場所

問3

同時に収穫したワサビの葉は、どのように活用しますか。

.....

問4

畑中代表は、ワサビの栽培ができることは、なになにつながると話していますか。

.....

回収した、自生していたワサビ 道志村



**道志でアウトドアメーカー移植**

道志村で森林保全活動やワサビ栽培などに取り組んでいる、東京都目黒区のアウトドア用品メーカー「BELLY（レイ）」の畑中和彦代表（57）らは、村内の工事現場で自生していたワサビを、同社が管理しているワサビ田に移して保護した。

同社は、村内にある森林「養老の森」などの保全活動や、運営するワサビ田での収穫体験などを行っている。ワサビは店舗の建設工事現場で見つかったもの。水路で約200株が自生していて、土地の所有者と話して譲り受けることになった。13日に畑中代表がワサビを回収し、ワサビ田に一時的に移植した。来年には増えた分のワサビを育てるため、ワサビ田の増設を予定している。

この日はワサビ田で葉の収穫もした。12〜1月のワサビの葉は虫食いが少なく、状態が良かったため、さまざまな料理に使用できるという。畑中代表は「ワサビは水がきれいな場所では育たない。森を守る活動がきれいな水をつくることにつながり、ワサビの栽培ができることをうれしく思う」と話している。

〈森航平〉

**なぐいん**  
赤池 悠、武田 寛明、森 航平（富士北麓）  
飯野 柊平（大月・上野原） 森 航平（都留）

**自生ワサビ200株を保護**

(2024年12月28日付 山梨日日新聞21面)